

最終学歴	立教大学大学院 文学研究科 英米文学専攻 博士課程後期課程修了
称号／学位	博士(文学)
専攻(専門分野)	アメリカ文学
研究テーマ	・19世紀アメリカ文学／文化 ・海洋文学、環境文学／思想
所属学会／団体	日本アメリカ文学会／日本英文学会／日本メルヴィル学会／日本ヘミングウェイ協会／文学・環境学会

主要業績

【著書】

- ・『〈交感〉自然・環境に呼応する心』(共著;野田研一編著)ミネルヴァ書房(2017.3)

【学術論文】

- ・“Pathos in the Civil War: Melville’s ‘The Scout toward Aldie’ as a Ballad.” Sky-Hawk: The Journal of the Melville Society of Japan 4 (2016.12) pp.25-40.
- ・「メルヴィルのゴシック性——『白鯨』と「ベニト・セレノ」における船を中心に」『戸板女子短期大学研究年報』第57号(2015.3) pp.13-20.
- ・“Epic and Lyric: Melville’s Use of the Folk Ballad in Billy Budd.” Sky-Hawk: The Journal of the Melville Society of Japan 2 (2014.12)pp.64-78.
- ・“Ishmael, the Poet: Moby-Dick as a Romance, the Second Voyage.” The Journal of the American Literature Society of Japan 11(2013.3)pp.23-40.
- ・「沈黙する“Traveller” ——エミリー・ディキンソンの自然詩への一考察」『立教レビュー』第40号(2011.3) pp.27-37.
- ・「苦しみの源、生きる原動力——エミリー・ディキンソンの神への「問い」」『立教レビュー』第37号(2008.3) pp.15-25.
- ・「Melvilleの語りの技法——Bartlebyの孤独と拒絶による権威の転覆」『立教レビュー』第34号(2005.3) pp.1-13.

【研究発表】

- ・「メルヴィルの詩学——『白鯨』におけるサウンドスケープ」立教英米文学会(於:立教大学)(2015.12)
- ・“Hemingway and Pound: Their Relationship in Life and Poems.” 日本ヘミングウェイ協会第22回全国大会(於:東京女子大学)(2011.12)

- ・「成熟への抵抗——ヘミングウェイの初期短編における男らしさのゆらぎ方」日本ヘミングウェイ協会第19回全国大会(於:東京女子大学)(2008.12)
- ・「Moby-Dickにおける父のイメージ——Ahabの狂気、あるいはQueequegの慈愛」日本アメリカ文学会東京支部例会(於:慶応義塾大学)(2007.9)

【書評】

- ・『詩集 日本の論理 ジャパンの叙情』(渡辺信二著、シメール出版企画、2010)『立教英米文学』第72号(2012.3)pp.109-11.
- ・『9・11／夢見る国のナイトメア——戦争・アメリカ・翻訳』(千石英世著、彩流社、2008)『立教英米文学』第70号(2010.3)pp.11-13.

【翻訳】

- ・「人種を超える連帯——『モービーディック』におけるイシュメイルとクイーケグ」(共訳; 牧野有通他)『Sky-Hawk』第24号(2008.7)pp.71-88.
- ・「『ダグラスとメルヴィル』の「ベニト・セレノ」セクション」(共訳; 牧野有通他)『Sky-Hawk』第23号(2007.7)pp.83-98.
- ・「「自然」と「文明」のジレンマ——問題小説としての『ビリー・バッド』」(共訳; 牧野有通他)『Sky-Hawk』第21号(2005.7)pp.55-71.



戸板女子短期大学
TOITA WOMEN'S COLLEGE